



地域を支える松本系魚川連絡道路の整備

～長野県大町建設事務所より継続的に情報を発信します～

8月に開催した大町市街地区間の住民説明会では、最適ルート帯を「西ルート帯」に選定した経緯と今後の予定について説明しました。参加者からご意見やご質問をいただきお答えをしましたが、その中で、今後の予定に関していただいた質問と回答を紹介します。

Q 「幅の細いルート帯」とは。

A 今回選定した西ルート帯は、幅1～2kmの幅の広いルート帯です。その範囲の中から、幅100～200mの「幅の細いルート帯」を検討していきます。

Q 松系道路は現道を利用するのか、新たに道路を作るのか。

A 大町市街地区間は、新たに道路を作ることを考えています。

Q 環境アセスメントは実施するのか。

A 環境アセスメントの実施が必要な規模を満たさないため、実施する予定はありません。なお、事業実施に当たっては、必要な環境調査などを行う予定です。

この他、視覚的に分かりやすい資料や説明会の開催方法についてご意見をいただきましたので、今後の検討に反映していきます。

なお、説明会では、事業の必要性について「経済活動や企業誘致に絶対に必要」「スピード感を持って進めてほしい」といった意見があった反面「この事業に200億円余りをかけるメリットがあるのか」「道路で人を呼ぶ時代ではない」といった意見もありました。

大北地域は高速道路などに30分でアクセスできない地域であり、高速交通ネットワークの空白地帯となっています。企業誘致や観光誘客、重篤患者の緊急搬送などの上で課題となっており、これらに対応するため必要なものと考えています。事業の必要性については、今後もできるだけ分かりやすい形で説明していきたいと考えています。

■問い合わせ 大町建設事務所整備・建築課計画調査係 Tel.23-6534(直通) Fax 23-6532
Eメールomachiken-matsuito@pref.nagano.lg.jp